

## HPR Regatta 2022

【共同主催】	JAPAN HPR CLUB 一般社団法人関西ヨットクラブ
【協力】	新西宮ヨットハーバー株式会社
【大会期間】	2022年7月16日-18日
【開催地】	新西宮ヨットハーバー(兵庫県西宮市西宮浜4-16-1)

### 帆走指示書(Sailing Instructions)

#### 1 適用規則

- 1.1 本レガッタは『セーリング競技規則』(以下 RRS)に定義された規則を適用する。
- 1.2 IRC 規則 2022 Part A,B 及び C を適用する。ただし以下を変更する。
  - 1.2.1 艇に搭載するセールの変更を認める。(IRC 規則 21.1.5(d)及び(e)の変更)
- 1.3 本レガッタは、付則 UF アンパイア制フリートレース HPR チャンピオンシップ 2022 版に従ってアンパイア制によりレースを行う。
- 1.4 外洋特別規定 2022-2023 付則Bインショアレース用特別規定(以下 OSR)および OSR 国内規定を適用する。
- 1.5 レース公示と帆走指示書の間に矛盾が生じた場合には、帆走指示書を優先する。

#### 2 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日出艇申告受付開始前までに掲示される。ただし、レース日程の変更は、発効する前日 17:00 までに掲示される。

#### 3 選手とのコミュニケーション

- 3.1 競技者への通告は、クラブハウス1F 南側テラスウェットバーに設置された公式掲示板に掲示される。
- 3.2 いかなる無線通信も使用を制限しない。ただし、RRS 41 を変更するものではない。

#### 4 行動規範

- 4.1 競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。
- 4.2 新型コロナウイルス感染症の感染予防、拡大防止には十分注意すること。

#### 5 陸上で発せられる信号

- 5.1 陸上で発せられる信号は、クラブハウス2F テラスのフラッグ・ポールに掲揚される。
- 5.2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信号「回答旗」の中の「1分後」を「30分後以降」に置き換える。

#### 6 レース日程

## 6.1 レース日程

7月16日(土)	09:30-10:00	受付・出艇申告(KYC 2F)
	10:00	艇長会議(KYC 2F)
	11:55	予告信号
7月17日(日)	09:30-10:30	出艇申告(KYC 事務所)
	11:55	予告信号
7月18日(月、祝)	09:30-10:30	出艇申告(KYC 事務所)
	11:25	予告信号
	16:00(予定)	表彰式(上下架ヤード)

6.2 シリーズは3日間で合計7レースを予定する。

6.3 各レース日のレース数はレースコミッティーの裁量に任せられる。

6.4 レース委員会が、その日の続くレースを予定する場合、レース委員会の信号艇は先のレースのフィニッシュ時にR旗を掲揚する。続くスタート手順は、先のレースで最終艇がフィニッシュした後、15分後以降に開始される。

6.5 出艇申告として、乗員リストの乗員の各日程欄にチェックを入れた書類を提出することとする。乗員に変更が有る場合は、各日程の出艇申告の時間内に乗員リストの変更を行うこと。

6.6 7月18日(月、祝)は14:00を過ぎての予告信号は発せられない。

## 7 クラス旗

クラス旗はグリーン旗である。

## 8 レースエリア

レースエリアは、A海面(西宮防波堤沖海面)とする。(SI添付図A“レースエリア図”参照)

## 9 コース

9.1 コースは風上風下コースとする。

9.2 SI添付図B<レースコース図>の見取り図は、レグ間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

9.3 予告信号以前にレースコミッティーの信号艇にマーク②Sからマーク①へのおおよそのコンパス方位及び距離を掲示する。

## 10 マーク

10.1 マーク①はオレンジ色の直径約2m、高さ約1.5mのトマト型ブイ、マーク②はピンク色の直径約1m、高さ約1.5mの円錐型ブイを使用する。

10.2 帆走指示書12に従って用いられる場合の新しいマーク①は緑色の直径約2m、高さ約1.5mのトマト型ブイである。再度コースを変更する為にマークを設置する場合には、最初のブイを使用する。

## 11 スタート

11.1 レースはRRS 26を用いてスタートさせる。

11.2 その日の続くレースの予告信号は、レースコミッティーの信号艇に掲揚されているR旗の降下(反復音響信号を

伴う)の、1分後に発せられる。

- 11.3 スタートラインは、スターボードの端にあるレース委員会の信号艇上にオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポートの端のマーク②Sのコース側との間とする。
- 11.4 スタート信号時に艇体がスタートラインのコースサイドにある艇、またはRRS30.1に従わなければならない艇が特定される場合には、レース委員会はVHFチャンネル72でそのバウナンバーまたは船名を送信するように努める。ただし、送信できなかつたり、送信のタイミングが的確でなかつたりしたとしても、救済要求の根拠にならない。これはRRS62.1(a)を変更している。
- 11.5 スタート信号の5分以降にスタートする艇は、「スタートしなかった(DNS)」と記録される。これはRRS A5.1とA5.2を変更している。

## 12 コースの次のレグの変更

- 12.1 コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し(またはフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。
- 12.2 コースの次のレグの変更は、次のマークへのおおよそのコンパス方位及び距離を掲示する。これは、RRS 33(b)を変更している。

## 13 フィニッシュ

- 13.1 フィニッシュ・ラインは、ポートの端にあるレース委員会の信号艇上にブルー旗を掲揚しているポールと、スターボードの端にあるマーク②Sのコース側との間とする。
- 13.2 コース短縮の場合、フィニッシュ・ラインは、レースコミッティーの信号艇のブルー旗を掲揚したポールとコースの最も近いマークのコース側との間とする。これはRRS32.2(a)を変更している。

## 14 ペナルティー方式

添付のWS 付則UF アンパイア制フリートレース HPR チャンピオンシップ 2022 版に基づく。

## 15 タイム・リミットとターゲット・タイム

- 15.1 マーク①のタイム・リミット、レース・タイム・リミット、フィニッシュ・ウィンドウ及びターゲット・タイムを下表に示す。

マーク①のタイム・リミット	レース・タイム・リミット	フィニッシュ・ウィンドウ	ターゲット・タイム
スタート信号後 20 分	スタート信号後 80 分	15 分	1レース / 60 分

- 15.2 マーク①のタイム・リミット内に1艇も最初のマークを通過しなかった場合、レースは中止される。
- 15.3 フィニッシュ・ウィンドウは、最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後、艇がフィニッシュするまでの時間である。フィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュできず、かつ、その後リタイアせず、ペナルティーを課されず、または救済を与えられなかった艇は、審問なしにタイム・リミット超過(TLE)と記録される。TLEとなった艇は、フィニッシュ・ウィンドウ内でフィニッシュした最後の艇が獲得した得点よりも、フィニッシュ順位に対し、1点多い得点が記録されなければならない。これは、RRS 35、A 5.1、A 5.2、A 10を変更している。
- 15.4 ターゲット・タイムどおりとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これはRRS 62.1(a)を変更している。

## 16 抗議と救済要求

添付の WS 付則 UF アンパイア制フリートレース HPR チャンピオンシップ 2022 版に基づく。

## 17 得点

17.1 各艇の所要時間に TCC を乗じた修正時間(小数点以下を四捨五入)により順位を決定する。

17.2 本大会の成立には 1 レースを完了する事が必要である。

17.3 艇のシリーズの得点は、全てのレース得点の合計としなければならない。(RRS 付則 A2 を変更)

## 18 安全規定

スタートしない艇、またはリタイアした艇は、速やかにレース委員会の信号艇またはレース本部(KYC 事務局 0798-26-0691)に連絡しなければならない。

## 19 乗員の交代と装備の交換

19.1 複数の艇に対しての乗員登録は認められない。

19.2 乗員リストに登録された乗員の間でその交代は認められる。ただし、1 日に複数のレースが実施される場合、当該日における乗員の交代は認められない。ただし、レース委員会がやむを得ないとして事前に承認した場合を除く。

19.3 シート、ハリヤード等を含むロープ類及び搭載セール以外の損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当の機会に行われなければならない。

## 20 運営艇

運営艇は以下の通り識別される。

- ・レース委員会の信号艇は OFFICIAL 旗掲揚。
- ・アンパイア艇は JURY 旗掲揚。
- ・メディア艇は PRESS 旗掲揚。

## 21 支援艇

21.1 レース期間中の支援艇を認める。申請は不要である。

21.2 支援艇は、予告信号から、すべての艇がフィニッシュするまたはリタイアする、もしくはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールまたは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。

## 22 上架の制限

22.1 艇は 7 月 16 日以降、その艇の最終レース終了まで上架してはならない。ただし以下の場合を除く。

22.1.1 レース委員会の事前の許可書があり、その条件に従っている場合。

22.1.2 緊急の場合。ただし、事後にレース委員会を納得させる義務があり、これができない場合は、ペナルティーが課せられることがある。

## 23 賞

総合第 1 位の艇に賞を与える。

## 24 リスク・ステートメント

- 24.1 RRS.3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任はその艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。
- 24.2 この大会の競技者は、自分自身の責任で参加する(RRS 3『レースをすることの決定』参照)。主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

SI 添付図 A <レースエリア図>



※上記に示すレースエリアはレースエリアの所在海域を示す図で有り、レースエリア範囲を正確に示す図ではない。

SI 添付図 B <レースコース図>

スタート - マーク① - マーク② - マーク① - フィニッシュ

